長崎県立五島高等学校　　第６号　平成２９年　９月２６日 発行

あこう風のたより

9月

発行責任者　原田尚之

【校長室より】

『体育祭・五高祭を終えて』

校長　原田　尚之

今年の体育祭のテーマは「らしさ」。～自分の色で～というサブテーマを合い言葉として、3年生を中心に、自分らしさ、各団らしさ、五島高校生らしさを表現し、団別の熱い戦いが繰り広げられました。五高祭のテーマは「you me」。～未来に向けて芽吹く、今～というサブテーマで、様々な思いが一つになった時、この五高祭が完成するという実行委員の想いが込められていました。

昨年度の反省を生かしながら、若者らしい創意工夫とはじけんばかりのエネルギーが両行事に注ぎ込まれまれ、大変な盛り上がりの中でも、高校生らしい清々しさを感じることができました。さすが五島高校生だという思いと同時に、次の時代を担う生徒たちに、頼もしさを感じたのが私の率直な感想です。

特に、この体育祭や五高祭を企画運営してくれた実行委員の皆さんの活躍は目を見張るものがありました。お陰で立派な体育祭・五高祭ができあがったと思います。何か行事があるとき、実行委員さんのような人が必ず存在することを、そしてその方々に感謝することを我々は忘れてはいけません。

また、PTAの保護者の方々には、リサイクルバザー、ドリンク販売、カレーやうどんの食物バザーに協力をいただき、誠にありがとうございました。約１００名の保護者の方に協力を得て、お陰様で充実した素晴らしい体育祭・五高祭を行うことができました。改めて感謝申し上げます。

これで秋の大きな行事である体育祭と五高祭が終わりました。この２つの行事を通して生徒たちが得たものは、勉強や部活動では得られない大変貴重なもので、大きく成長したと確信しています。

五高祭を節目に学校は次の段階に入ります。勉強の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われるように、秋は何をするにも適した季節です。３年生はもちろん１，２年生も一人一人が高い目標を持って、やるべきことに全力で頑張れるよう、職員一同一所懸命サポートしていきたいと思います。

各ご家庭でも、体育祭や五高祭について、生徒たちの汗と涙の結晶を家庭団らんの話題にしていただければ幸いです。

快挙!! 長崎県新人体育大会

陸上部男子総合優勝 女子も総合３位

９月１５～１８日にかけて行われた長崎県高等学校新人体育大会（＠諫早市・トランスコスモススタジアム長崎）において、本校陸上部男子が、参加６４校の頂点に立ち、見事総合優勝を成し遂げました。これは離島の高校で初の快挙であり、優勝旗が初めて海を渡ったことになります。なお女子も総合３位というすばらしい結果でした。

男女あわせて７種目で優勝、２位が５種目、３位が３種目、入賞の総数にいたっては１８種目という大活躍でした。さらに、１５名の生徒は来月沖縄市で行われる全九州新人大会に参加します。沖縄でも五島高校旋風を巻き起こして欲しいものです。今後も陸上部の活躍から目が離せません。

３位以上の入賞者は表の通りです。（Hはハードルの略です）

４００m	１位	高木龍一(2年)	１５００m	２位	若菜瑠聖(2年)
４００mH	１位	後藤颯汰(2年)	１１０mH	２位	後藤颯汰(2年)
５０００m競歩	１位	谷合晃誠(2年)	１００mH	２位	山口愛音(2年)
４００mH	１位	山口愛音(2年)	円盤投	２位	里中彩華(2年)
砲丸投	１位	里中彩華(2年)	ハンマー投	２位	富永真白(2年)
円盤投	１位	小島ほのか(2年)	４００mH	３位	出口航大(2年)
４×４００mリレー	１位	出口航大(2年) 後藤颯汰(2年) 橋木直樹(2年) 高木龍一(2年)	三段跳	３位	角野実夏人(1年)
			砲丸投	３位	平野鈴葉(1年)

第６６回体育祭　９月３日（日）

第６６回五島高校体育祭が本校第２グラウンドにおいて開催されました。練習から本番まで好天に恵まれ、無事終了することができました。また、多くのご来賓・保護者の方々にお越しいただき、ありがとうございました。

運営では３年生の実行委員が中心となり準備を進め、当日は部活動を中心に係生徒も積極的に活動してくれたおかげで、スムーズに運営することができました。生徒が創り上げる、生徒が主役の体育祭にすることができたのではないかと思います。この経験を体育祭のみで終わらせることなく、ぜひ今後の生活に活かしてほしいと思います。

なお、体育祭の主な結果は次の通りです。

総合優勝	黄団
競技の部	赤団
入場行進の部	黄団
応援合戦の部	黄団
団別演技の部	黄団
応断幕の部	黄団

五高祭　　　９月９日（土）、１０日（日）

今年度の五高祭のテーマは『you me(ゆめ) ～未来へ向けて芽吹く、今～』でした。新たな自分、秘めた自分と出会い、それを地から芽を出すようにのびのびと力強く表現してほしいという想いが込めていました。
プレオープニングセレモニーでは、青春動画→職員の夢動画→準備風景→３年生作成のモザイクアートの発表を行いました。オープニングセレモニー、そしてエンディングセレモニー（グランドフィナーレ）では、演劇や動画を通して実行委員が考える『ゆめ』を高校生らしく表現することができました。
保護者の皆様にはバザーへの協力で大変お世話になりました。また、ご来場いただいた皆様にも、残暑厳しい中にご観覧いただき心から感謝しています。
今後も「五高祭」が五高生にとって文化を考え、文化を表現できるステージとなるよう、教職員生徒一同、努力を重ねていきたいと願っています。今後とも、五高祭、そして本校生徒会へのご協力、よろしくお願いいたします。

五高祭を終えて　　　五高祭実行委員長　２年５組　川口智子

体育祭からの１週間は怒涛の日々でした。実行委員になったのは５月。それからの４ヶ月は忙しくても大変でも、どこか充実したものでした。実行委員２９名全員で協力することで、前日まで不安だらけだった五高祭を成功に導くことができました。自分達の時間を割いてまで全力で取り組んでくれた生徒のみなさんには感謝してもしきれないほどです。五高生全員が自らの手で創り上げた夢の時間は、本当にあっという間でした。
この五高祭の運営にはたくさんの方々にお世話になりました。また、撮影にもご協力いただきありがとうございました。盛り上げ上手な３年生の皆さんのおかげで、更に素敵な五高祭となりました。本当にありがとうございました。

親子ふれあい活動　　８月２２日、２３日、２４日

乳幼児親子に高校へ来ていただき、乳幼児親子と生徒がふれあいの時間を持つ取り組みです。生後２ヶ月から５歳のお子様に参加していただき、お父さんお母さん方から妊娠・出産・子育てについてのお話をしていただきました。手作りおもちゃで遊んでもらいました 。

以下は体験を終えたあとの生徒の感想です。
最初は戸惑うこともあったが、少しずつ遊べるようになり笑顔をたくさん見せてくれるようになり、私も笑顔が出ました。子どもがいるだけで笑顔が出るので、子どもはすごいなと思いました。

普段乳幼児親子と交流する機会が少ない生徒たちにとって貴重な経験となりました。実施にあたり、たくさんの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。